

# 今年度はこんな街づくりをします

## 主な新規事業

### 児童・生徒の

### 安全確保対策

#### 防犯カメラ設置事業

600万円

すでに設置済みの泉小学校を除く市内全小学校に、防犯カメラを設置します。

AED（自動体外式除細動器）配備事業

284万円

市内全中学校に、心臓突然死を防ぐための救急医療用具であるAED（自動体外式除細動器）を配備します。

### 生涯学習施設の整備

#### 土岐津公民館建設事業

3億4,507万円

生涯学習活動の拠点として、各地域に特色ある公民館の整備を行います。

今年度は、「ものづくり」をテーマとし、陶芸教室・木工室などを備えた土岐津公民館を建設します。



土岐津公民館完成予想図

### 美濃焼産業と

### 産業観光の振興

#### 産業観光誘導サイン等掲出事業

2,497万円

昨年三月の東海環状自動車道の開通や、土岐プレミアム・アウトレットのオープン以来、土岐市へ来訪される方は、県内外を問わず確実に増加しています。

そこで、さらなる増加策として、東海環状自動車道沿いに本市をアピールする大型看板を設置するほか、一人でも多くの方に、市内に点在する産業観光施設をご利用いただけるよう、市内の国道、県道の主要交差点などに案内看板を設置します。

#### 鉛毒カドミウム対策事業（平成18年度のみ）

500万円

二〇〇七年に、陶磁器製食器などからの鉛とカドミウムの溶出基準が厳しく改正される予定で、現在市内の業界関係者は、その対応に取り組んでいます。

そこで、今年度に限り、市内の陶磁器上絵付製品取扱業者が、新基準に適應するため、電気焼成炉の改修を行った場合に、その費用の一部を一定の基準を設け助成します。

また、陶磁器試験場で実施している鉛・カドミウム溶出試験の手数料も、今年度に限り、二分の一に減免します。

### 学校教育関連

### 施設の整備

#### 給食センターの建設事業

813万円

老朽化が進んでいる学校給食センターについて、平成二十年度に全面移転改築工事が実施できるよう、基本設計を行います。

## 児童福祉の充実

医療費助成事業

1億4,138万円

乳幼児などに対し、医療費を助成していますが、新たに小学一年生から中学三年生までの児童・生徒が入院した際の医療費を助成します。

## 介護保険事業

介護保険の健全運営

33億5,907万円

人口の高齢化が進む中、保険給付額も増加していくことが想定されます。

今後も、介護保険事業を安定的に継続し、健全に運営していくため、向こう三年間の介護サービス給付費などの伸び率を勘案し、満六十五歳以上の方が該当する第一号被保険者の介護保険料を、二千五百七十六円から三千五百六十九円に、今年度か

ら改定します。

また、介護に関する総合的な相談や介護予防事業などを行う「地域包括支援センター」を職員四人体制で設立します。

## 消防団活動の充実

消防団中核拠点施設の整備

1億2,824万円

東海地震など、大規模災害の発生が心配されている中で、消防団活動の活性化と地域住民との連携を図るため、消防団中核拠点施設の建設を進めています。今年度は土岐津・妻木両分団の中核拠点施設を建設します。

## 中心市街地の整備

土岐市の顔としての基盤づくり

2億2,114万円

都市計画街路「新土岐津線」の整備事業については、早期の事業完遂



一部開通した新土岐津線

## 公共交通の充実

市民バス運行事業

3,498万円

高齢者など、交通弱者の日常生活に不可欠な交通手段として、運行している市民バスについて、新たに「バーデンパークSOGIE」までの路線を開設し、一人でも多くの皆さんがお出掛けできるようにします。

そのための、今年度は、地権者の意向の把握と市の整備計画を提案し、事業を円滑に推進するための調査などを実施します。

また、前年度に実施しました「土岐市駅周辺地区都市再生基本調査」の内容を踏まえ、「土岐市駅周辺地区活性化基本計画」を策定します。

さらに、今年度から三年計画で、中央本線踏切の拡幅改良工事を実施します。今年度は、踏切の拡幅と、泉町河合の宮洞踏切廃止工事および廃止に伴う側道の新設工事などを行います。

